大規模化が進む林業経営体と農林複合経営法人の増加

――2025年農林業センサス確報のポイント――

主任研究員　多田忠義

2026年８月に2025年農林業センサスの確報（第２巻　総括編）が公表された。以下では、林業経営体（注）の構成変化や素材生産の動向について簡単に紹介する。

1　林業経営体は５年間で一層規模拡大

25年２月１日時点の林業経営体は全国で23,300であり、20年の34,001から31.5％減と、前回（15～20年、61.0％減）に続く大幅な減少であった（第１表）。保有山林規模別に見ると、３～10haで15.5ポイント減、10～50haで12.8ポイント減である一方、100ha以上の大規模保有層では1.1ポイントの小幅な減少にとどまった。

林業経営体が保有する山林面積は、全国で314万ha（対20年比で5.6％減）、直近４回を比較すると、減少幅が縮小した（第２表）。しかし、この面積を保有山林のある林業経営体数で除して求める１経営体当たりの面積は拡大し続けており、25年には140.2haに達した。

さらに、調査前年（24年）の素材生産量は、前回調査から4.0％増加し、2,123万㎥であった。この増加率の内訳は、保有山林での生産が1.2ポイント増、受託による生産（立木買いを除く）が0.2ポイント減、立木買いによる生産が3.0ポイント増で、保有山林での生産と立木買いによる生産がけん引している（第３表）。これを地域別に見ると、保有山林での生産は、九州、東海、近畿の順、立木買いによる生産は東北、九州、中国の順に伸びた。

これらの結果は、保有山林規模で見れば50ha未満の林業経営体が減少し続ける一方、50ha以上の山林を保有する、もしくは、立木買いによって素材生産を拡大する経営体の存在感が増している。

第1表　保有山林規模別林業経営体数

（単位　経営体、％、％pt）

		計	保有山林なし	3ha未満	3～10	10～50	50～100	100ha以上
実数	’10年	140,186	1,299	1,343	82,313	45,857	4,892	3,497
	’15	87,284	1,257	990	48,158	29,687	3,572	2,764
	’20	34,001	1,028	492	14,433	13,068	2,151	2,054
	’25	23,300	915	530	9,157	8,715	1,531	1,709
			内訳（寄与度）					
増減率	’10→’15	▲ 37.7	▲ 0.0	▲ 0.3	▲ 12.3	▲ 12.0	▲ 7.5	▲ 0.6
	’15→’20	▲ 61.0	▲ 0.3	▲ 0.6	▲ 20.1	▲ 18.6	▲ 12.0	▲ 0.9
	’20→’25	▲ 31.5	▲ 0.3	0.1	▲ 6.7	▲ 8.8	▲ 7.1	▲ 1.1

資料　農林水産省「農林業センサス」

第2表　保有山林面積と素材生産量

（単位　ha、㎥、％）

		保有山林面積	1経営体あたり	素材生産量（調査前年）
実数	’10年	5,177,452	37.3	15,620,691
	’15	4,373,374	50.8	19,888,089
	’20	3,322,691	100.8	20,414,409
	’25	3,137,593	140.2	21,231,634
増減率	’10→’15	▲ 15.5	36.4	27.3
	’15→’20	▲ 24.0	98.2	2.6
	’20→’25	▲ 5.6	39.1	4.0

資料　第1表に同じ
（注）　1経営体あたりの保有山林面積は、保有山林面積を山林を保有する林業経営体数で除して求めた。

2　農林地を一体的に経営する法人が担い手の一角へ

林業経営体の減少を農林地の経営主体から理解するために、農業経営体かつ林業経営体（以下、「農林複合経営体」）と、それ以外の林業経営体（以下、「林業のみ経営体」）に分けてみる。25年の農林複合経営体は12,323、林業のみ経営体は10,977で、林業経営体全体の減少（31.5％減）に対する寄与度は、それぞれ15.1ポイント減、16.4ポイント減と、同程度であった（第４表）。しかし、法人に絞ると、林業のみ経営体では、0.9ポイント減（3,786から3,472に減少）である一方、農林複合経営体では、0.1ポイント増（307から341に増加）であった。

農林中金総合研究所
https://www.nochuri.co.jp/

第3表　地域別の素材生産量と増減率の内訳

（単位　㎥、%、%pt）

地域区分	素材生産量（調査前年）	前回調査比（地域別は寄与度）	前回調査比の内訳（寄与度）		
			保有山林で自ら伐採	受託生産	立木買い
全国	21,231,634	4.0	1.2	▲ 0.2	3.0
北海道	3,366,795	▲ 1.0	0.1	▲ 0.1	▲ 1.0
東北	4,943,265	1.1	0.1	▲ 0.6	1.7
北陸	571,608	▲ 0.1	0.0	▲ 0.5	0.4
関東・東山	1,690,876	0.1	▲ 0.4	0.5	▲ 0.1
東海	1,103,062	0.6	0.5	0.2	▲ 0.1
近畿	863,665	▲ 0.2	0.3	▲ 0.6	0.1
中国	1,706,427	0.8	▲ 0.4	0.6	0.6
四国	1,359,773	0.0	▲ 0.1	▲ 0.0	0.1
九州	5,625,752	2.7	1.1	0.4	1.1
沖縄	411	▲ 0.0	－	0.0	▲ 0.0

資料　第1表に同じ
（注）　地域区分は、全国農業地域に基づく。第4表も同じ。

第4表　林業経営体における農業経営有無の比較

（単位　経営体、%pt）

地域区分	林業のみ経営体		農林複合経営体		林業経営体（総数）の増減率に対する寄与度			
					林業のみ経営体		農林複合経営体	
	'20	'25	'20	'25	'20→'25	うち法人	'20→'25	うち法人
全国	16,545	10,977	17,456	12,323	▲ 16.4	▲ 0.9	▲ 15.1	0.1
北海道	2,762	2,059	1,803	983	▲ 2.07	▲ 0.08	▲ 2.41	▲ 0.19
東北	2,421	1,620	2,712	2,122	▲ 2.36	▲ 0.22	▲ 1.74	0.04
北陸	861	439	729	535	▲ 1.24	▲ 0.17	▲ 0.57	0.02
関東・東山	1,690	1,244	1,870	1,637	▲ 1.31	▲ 0.22	▲ 0.69	0.06
東海	1,790	1,081	1,656	1,170	▲ 2.09	▲ 0.04	▲ 1.43	0.02
近畿	1,441	930	1,118	770	▲ 1.50	▲ 0.16	▲ 1.02	0.04
中国	2,115	1,107	2,773	1,481	▲ 2.96	▲ 0.10	▲ 3.80	0.02
四国	879	603	1,323	940	▲ 0.81	0.08	▲ 1.13	0.01
九州	2,580	1,888	3,470	2,685	▲ 2.04	▲ 0.02	▲ 2.31	0.08
沖縄	6	6	2	0	0.00	0.00	▲ 0.01	0.00

資料　第1表に同じ
（注）　農林複合経営体＝農業経営体＋林業経営体－農林業経営体、林業のみ経営体＝林業経営体－農林複合経営体により算出した。

地域別に見ると、沖縄を除くすべての地域で、林業のみ経営体、農林複合経営体ともに減少に寄与しているが、法人に絞ると、林業のみ経営体では四国と沖縄を除くすべての地域で減少に寄与する。一方で、農林複合経営体では北海道と沖縄を除くすべての地域で増加に寄与している。

以上から、北海道と沖縄を除く各地域で、農林複合経営体のうち法人（以下、「農林複合経営法人」）が、林業経営体全体が減少する局面で増えたことがわかる。このことは、農林地を一体的に経営する法人が、地域林業の担い手の一角として現れつつあることを示している。

3　大規模化と並行して育ちうる林業の多様な担い手

公表データからは、林業経営体の大規模化が改めて確認された一方、地域の農業と林業を同時に営む法人経営体が、わずかながら増えていることがわかった。26年６月に閣議決定された『森林・林業基本計画』では、農林業センサスでは捉えにくい自伐型林業に取り組む事業者も例示しながら、林業経営を担う主体は多様であることを改めて強調している。農林複合経営法人は、地域の農地や山林の所有者と日常的な関係を持ち、小規模な山林の管理も引き受けやすいことから、林業の多様な担い手が育つ素地となりうる。また、農山村社会の維持が林業経営の持続的な発展に不可欠な条件の一つであるならば、林業経営体の減少が続くなかで、地域の農林地を経営する農林複合経営法人が増加していることは有意義な結果である。その実態をより正確に理解するためにも、個票の分析を通じて、農林複合経営法人と林業のみの経営体との違いを分析する必要がある。

（ただ　ただよし）

（注）農林業センサスにおける林業経営体の定義は、①保有山林面積が３ha以上（調査実施年を計画期間に含む森林施業計画もしくは森林経営計画を策定している者、または調査期日前５年間に継続して林業を行い、育林もしくは伐採を実施した者に限る）、②委託を受けて行う育林若しくは素材生産又は立木を購入して行う素材生産の事業（ただし、素材生産については、調査期日前１年間に200㎥以上の素材を生産した者に限る）のいずれかに該当する者である。

農林中金総合研究所
https://www.nochuri.co.jp/